

障害福祉計画・障害児福祉計画推進シート（総括表）

資料④

注：表中の【取り組み計画】【実績・課題】の[30]は平成30年度、[元]は令和元年度、[2]は令和2年度を表します。
 (記入)の[自]は自立支援協議会を表し、相談部会は相談支援・権利擁護部会、就労部会は就労支援部会、
 精神部会は精神障害者部会、活動部会は地域活動部会の略です。

1. 一人ひとりに寄り添う相談と権利擁護の推進

成果目標	実施する事業等・改善点【取り組み計画】	事業等の実施状況・成果・課題【実績・課題】	(記入)
① 多様な方法を活用した的確な情報伝達の推進	[30]福祉の手引き（精神版）の作成 [元]継続実施、手引き（身障・知的・精神）の作成 [2]感染防止・災害時に聴覚障害者に情報を伝える緊急時の手話動画の公開	[30]福祉の手引き（精神版）作成に向け検討を行い、手引き作成した。 [元]継続実施した。	障害福祉課
	[30]遠隔手話通訳（市民課・市民ステーション・保険事業室に設置）の周知、タブレット端末の外国語翻訳・音声文字変換アプリの活用 [元]アプリを活用した窓口での相談体制の充実 [2]タッチパネルによる証明書自動交付機の導入（利便性向上・待ち時間短縮）、タブレットを利用した遠隔手話サービスの推進	[30]計画に沿って実施し、窓口での外国人や聴覚障害者とのコミュニケーションが可能になった。 [元]継続実施した。指定管理の施設などでのタブレットの活用が課題である。	障害福祉課・市民課
	[30]点字広報、声の広報の発行、広報誌の音声データのホームページでの公開・音声読上げソフトの更新（操作性や利便性の向上） [元]アクセシビリティに配慮したホームページづくり、「やさしい日本語」ページの拡充、広報の特集等での市民への手話の周知 [2]令和3年度に向けたホームページのリニューアル（ウェブアクセシビリティに配慮）	[30]音声読上げに配慮したガイドラインの改正やホームページの適正化により、視覚障害者への配慮に関する市全体の基準を統一した。 [元]ホームページに手話を周知するバナーや動画等を掲載し市民の理解を呼びかけた。「やさしい日本語」のページにごみの出し方や市役所などの情報を追加した。	広報広聴課

成果目標	実施する事業等・改善点【取り組み計画】	事業等の実施状況・成果・課題【実績・課題】	(記入)
② 計画相談支援等を活用したきめ細かな支援の推進	<p>[30] サービス等利用計画の作成率向上の取り組みの検討、介護保険事業所への参入の呼びかけ、相談支援ネットワーク会議を通じたスキルアップ</p> <p>[元] 継続実施、相談支援システム構築・医療や介護分野との連携の検討</p> <p>[2] 継続実施、相談支援システムの整備、ネットワーク会議の充実による相談支援事業所のスキルアップと連携の推進、介護・医療に加え教育・子育て等の分野との連携の検討、緊急時に速やかに対応できる相談支援・受入施設の体制の整備、モニタリングチェックの実施に向けた検討</p> <p>[30] 制度改正・地域資源・中核市における体制などの学習、新規利用者・困難ケース等への対処の検討</p> <p>[元] 新規利用者の受け入れ推進方法の検討</p> <p>[30] 事業所（新設を含む）の情報を共有するしくみの検討</p> <p>[元] 就労支援と生活支援の情報共有や連携の検討</p>	<p>[30] 特定指定相談支援事業所による相談支援ネットワーク会議を設置し、情報や課題の共有、連携強化の検討、研修会を実施し、事業所支援のしくみが検討できたが、作成率は昨年度同様の50%にとどまった。</p> <p>[元] 会議を通じて相談機関の連携強化や高齢分野との情報共有や連携方法の検討を行った。スキルアップのための研修会も引き続き実施したが、計画作成率は昨年度と同様にとどまった。</p> <p>[30] ワーキング・サブワーキング会議で情報共有や意見交換を行った。</p> <p>[元] 新規受け入れ時の他分野の制度や社会資源の知識を高めるよう、関係機関の報告を受けた。</p> <p>[30] どのような情報が必要かの意見交換を行った。</p>	<p>障害福祉課</p> <p>[自] 相談部会</p> <p>[自] 就労部会</p>
③ 基幹相談支援センターを核とする総合的な相談支援体制の充実	<p>[30] 基幹相談支援センターの相談体制の充実、自立支援協議会での委託相談支援事業所の評価と情報・課題の共有、福祉・子育て安心ほっとライン（適切な窓口・機関を案内する24時間365日対応の電話窓口）の開設</p> <p>[元] 継続実施、地域生活あんしん支援システム事業のしくみの構築</p> <p>[2] 主任相談支援の配置（研修の受講）等も含めた相談支援システムの検討</p>	<p>[30] 基幹相談・拠点推進会議を開催し、基幹相談支援センターと委託相談支援事業所での情報や課題の共有、体験宿泊プログラム事業の推進などを行った。</p> <p>[元] 継続実施した。福祉・子育て安心ほっとラインは令和元年度で終了した。</p>	<p>障害福祉課</p>
④ 成年後見制度の利用と意思決定支援の推進	<p>[30] 成年後見制度の市長申立の適切な実施</p> <p>[元] 成年後見制度利用促進法の施行もふまえた利用促進のしくみの検討（関係課等と連携して実施）</p> <p>[2] 継続実施、申請書様式変更に対応した迅速・適切な申立の実施</p> <p>[30] 市地域福祉計画推進委員会の委員構成の検討</p> <p>[元] 成年後見制度利用促進法の施行をふまえた次期地域福祉計画の策定</p>	<p>[30] 市長申立を3件実施した。事業所等にパンフレットを配布して啓発を行った。</p> <p>[元] 市長申立を2件実施した。地域福祉調整会議で中核機関の体制整備について検討した。</p> <p>[30] 地域福祉計画推進委員会の委員の推薦を大阪弁護士会、大阪司法書士会に依頼した。</p> <p>[元] 高齢介護室、障害福祉課、社会福祉協議会と情報共有・現状把握を行った。</p>	<p>障害福祉課</p> <p>福祉総務課</p>

成果目標	実施する事業等・改善点【取り組み計画】	事業等の実施状況・成果・課題【実績・課題】	(記入)
⑤ 差別解消への理解と配慮、調整の推進	[30]手話言語条例の制定に向けたパブリックコメントの実施、条例に基づく新規施策の検討 [元]手話啓発の動画の発信、啓発リーフレットの作成、手話イベントの実施、職員手話研修の実施 [2]手話研修の推進	[30]条例制定し、平成31年4月1日から施行した。当事者を講師とした職員手話研修を実施した。 [元]聴覚・言語障害者部会と協力し手話動画のホームページ掲載、啓発リーフレットの作成・配布、手話イベントの開催を実施した、手話研修を新規採用職員研修や出前講座などで実施した。	障害福祉課
	[30]人権啓発冊子（ひろげよう しあわせの輪）の作成 [元]冊子の出前講座での活用、啓発事業での配布による啓発活動の実施 [2]継続実施、より多くの市民の理解と認識を深める啓発活動の実施	[30]冊子を発行し、出前講座の教材としても活用した。 [元]冊子等を出前講座の教材とするとともに、人権啓発事業で配布した。	人権文化課
	[30]差別解消支援地域協議会の設置に向けた関係機関担当者会議の開催、他市状況等の把握 [元]協議会の設置、対応・防止に向けた情報共有や協議の実施 [2]継続実施（持ち越しとなった協議会の設置と取り組みの推進）	[30]担当者会議を開催し、協議会について検討した。 [元]協議会は感染予防のため開催できなかった。個別案件には適切に対応し、権利擁護と合理的配慮を推進した。	障害福祉課
⑥ 虐待防止への理解と予防・解決に向けた取り組みの充実	[30]虐待防止センターでの適切な対応、一時保護と適切な生活の確保 [元]市民等への啓発や事業者・関係機関等と連携した予防・対応の充実、居室確保や家庭訪問等による適切な保護・支援の実施、警察との連携の整理 [2]継続実施、虐待ケース発生時の警察との連携の強化	[30]ホームページに虐待防止パンフレットを掲載し市民からの通報を促進した。虐待防止対策協議会を開催して対応への専門的助言を受けるとともに、緊急避難のための居室確保を実施した。 [元]ホームページを更新した。居室確保の契約事業所を2か所増やし、案件に柔軟に対応できた。	障害福祉課
	[元]相談業務によるDV被害者等への助言・支援、DV被害者支援連絡会の開催と情報交換・研修会の実施 [2]継続実施、緊密な連携協力による迅速・適切な対応	[元]計画に沿って実施した。相談内容が複雑・多様化しており、関係課機関といっそう連携した迅速・適切な対応が必要である。	人権文化課

2. 多様な地域生活を支えるサービス等の充実

成果目標	実施する事業等・改善点【取り組み計画】	事業等の実施状況・成果・課題【実績・課題】	(記入)
⑦ 地域生活への移行に向けた支援の充実	<p>[30] 地域生活支援（拠点）システムの推進（内容は⑧に記載）、施設・グループホームからのひとり暮らしを希望する人への自立生活援助の実施</p> <p>[元] 親亡き後の支援のニーズ把握と検討の実施、自立支援協議会を中心とした関係機関の連携体制の充実</p> <p>[2] 親亡き後などの緊急時に対応した居宅確保事業の運用、医療・介護・教育との連携の検討（②の再掲）</p>	<p>[30] 体験宿泊プログラム事業を実施した（内容は⑧に記載）。精神障害者地域相談支援マネージャー事業を実施し、地域移行を支援した。適切な支援につなぐための現状やニーズの把握が課題である。</p> <p>[元] 体験宿泊プログラム事業等を実施した（内容は⑧に記載）。高齢分野との連携方法の検討を行った（②の再掲）。自立生活援助が1事業所で実施されている。</p>	障害福祉課
⑧ 地域生活支援（拠点）システムの推進	<p>[30] 体験宿泊プログラム事業の実施、あんしん支援システムの事業内容の検討、面的整備（専門的な支援体制、多様な主体の参加と協働によるサービス提供体制の充実）の推進</p> <p>[元] 体験宿泊プログラム事業の本格実施と体制の整備、あんしん支援システムの検討</p> <p>[2] 体験宿泊プログラムの継続実施、緊急時の居室確保事業の実施（⑦の再掲）、面的整備の実施、次期計画における取り組みの検討</p> <p>[元] 相談支援事業所での緊急対応等の協議</p>	<p>[30] 体験宿泊プログラム事業を事業者と契約して実施した。緊急時の備えた利用登録の推進や、関係機関等の連携による面的支援が課題である。</p> <p>[元] 体験宿泊プログラムの契約事業所を1か所増やした。介護者の緊急時に対応する居室確保やコーディネートのおしきみを検討し、居室確保の予算化を図った。</p> <p>[元] 障害種別の特徴によるニーズ把握の必要性等について協議した。</p>	障害福祉課 [自]相談部会
⑨ 精神障害者地域包括ケアシステムの構築	<p>[30] 精神障害者地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者の協議の場の検討</p> <p>[元] 継続実施といっそうの連携、中核市として設置した市保健所との役割の整理や連携の検討</p> <p>[2] 継続実施、各機関の役割の再確認</p> <p>[30] 地域包括ケアシステムの構築に向けた事例検討、中核市における精神保健システム等の情報収集</p> <p>[元] 地域包括ケアのための連携の推進、中核市における役割等の把握</p>	<p>[30] 協議の場を設置し、自立支援協議会精神障害者部会で検討した課題などを協議し、関係機関の連携が推進できた。</p> <p>[元] 協議の場を活用し、関係機関のより深い意見交換ができた。</p> <p>[30] 計画に沿って実施し、課題の共有・検討を行った。</p> <p>[元] 中核市における窓口やシステムを共有した。サービスから孤立した人とのつながりづくりなどについて情報交換・意見交換を行った。</p>	障害福祉課 [自]精神部会

成果目標	実施する事業等・改善点【取り組み計画】	事業等の実施状況・成果・課題【実績・課題】	(記入)
⑩ 多様なニーズに対応する介護・生活支援サービスの確保	<p>[30] 地域生活支援調整会議等を通じたニーズの把握・共有、サービスの提供と新たな支援の開発</p> <p>[元] 課題をサービスや支援につなぐシステムの検討 (⑧とも関連)、重度の人のニーズに対応した支援にしくみづくり、地域福祉計画での「分野横断的な支援」のニーズや課題の検討</p> <p>[2] サービス事業者の実態・地域のニーズの把握と対応の検討</p>	<p>[30] 自立支援協議会に地域生活支援調整会議を設置し、ライフステージを通じたニーズや支援の情報共有を行い、支援機関の連携がすすんだ。</p> <p>[元] 地域連携勉強会を継続実施し、支援機関等の連携が広がった。地域生活支援調整会議は期間連携をテーマとして開催を予定した (コロナウイルス感染症の拡大により未実施)。</p>	障害福祉課
	<p>[30] 共生型サービスを実施する事業所の把握と対応</p> <p>[元] 継続実施</p> <p>[2] 継続実施、国の通知などをふまえた次期高齢者保健福祉計画の策定</p>	<p>[30] 事業者から問い合わせがあったが、指定はなかった。</p> <p>[元] 共生型サービスは3事業所が指定を受けている (令和2年7月現在、事業者指定は指導監査課に移管)。</p>	高齢介護室
	<p>[30] 地域公共交通形成計画の策定、タウンくるバスの運行</p> <p>[元] 計画に基づく施策を順次実施、タウンくるバスの運行の継続</p> <p>[元] 継続実施</p>	<p>[30] 地域公共交通形成計画を策定し、施策等の方針が定まった。</p> <p>[元] 交通タウンマップを全戸配布した。乗合いワゴンの実験導入を3地区で開始した。</p>	道路交通課
	<p>[30] サービスの根拠となる数字 (実態やニーズ) の把握、他分野との連携のための勉強会の開催、若年層の精神障害者への支援に関する意見交換</p> <p>[30] データの把握と退院疎外要因の分析、地域連携勉強会の継続実施</p>	<p>[30] 計画に沿って実施し、状況の分析や課題の共有を行った。</p> <p>[元] 630調査結果等を共有し、退院阻害要因である住まいの確保との関連を確認した。地域連携勉強会を継続実施し、8050世帯の事例も検討した。</p>	[自]精神部会
	<p>[元] 高齢介護サービスとの連携、複雑な課題の解決に向けた関係機関との連携についての検討、</p>	<p>[元] 高齢分野の相談支援機関と取り組みや地域の課題を共有し、連携に向けた検討を行った。</p>	[自]相談部会
⑪ 重度者、発達障害者、難病患者等への支援の充実	<p>[30] 発達障害者・医療的ケア児への理解と支援に向けた取り組み</p> <p>[元] 継続実施</p> <p>[2] 継続実施、サービスの利用や必要な支援の実施に向けた検討</p>	<p>[30] 発達障害理解のための講演会を開催した。医療的ケア児支援に関する取り組みを推進した。</p> <p>[元] 医療的ケア児支援検討会を継続開催し、情報共有と検討を行った。講演会も継続実施した。</p>	障害福祉課
	<p>[30] 医療観察法に基づくケースへの支援に関する学習</p>	<p>[30] 専門機関の説明を受け、制度の内容を確認した。</p>	[自]精神部会

成果目標	実施する事業等・改善点【取り組み計画】	事業等の実施状況・成果・課題【実績・課題】	(記入)
⑫ 居住型サービスと住まいの確保への支援の充実	[30] 重度者への対応を含めたグループホーム整備などの推進方策の検討 [元] 継続実施、国の補助金を活用したグループホーム等を整備する事業者への支援 [2] 継続実施、体験宿泊の定着と利用登録者の拡大(⑧の再掲)、施設環境整備のため修繕のための補助金を交付	[30] 居住支援協議会(0sakaあんしん住まい推進協議会)と連携して情報を収集した。 [元] 体験宿泊プログラムを実施した(⑧の再掲)。	障害福祉課
	[元] 退院時の住まいの確保についての情報交換	[元] 630調査結果等を共有し、退院阻害要因である住まいの確保との関連を確認した(⑩の再掲)。	[自] 精神部会
	[元] グループホーム調査(事業所対象)の実施	[元] グループホーム調査を実施した(集計中)。	[自] 活動部会
⑬ 自立した生活がおかれる経済的な基盤への支援の推進	[30] 関係機関との連携による生活困窮者自立支援の活用 [元] 生活困窮者自立支援での包括的な支援体制の強化、就学前の発達支援無償化の周知 [2] 居住や経済的支援に関する社会資源の調査(グループホーム実態調査の実施など)と活用の啓発、国の動向をふまえた介護給付費・訓練等給付費の支給決定基準の整理	[30] 相談支援事業所への説明会を実施し連携を推進した。サポート手帳等のツールを活用した障害年金申請の啓発を推進した。 [元] 10月から障害児の発達支援が無償化された。難病の方を地域生活支援事業の対象と明示した。生活困窮者へサービス利用等の支援を行った。	障害福祉課
	[30] 児童扶養手当・特別児童扶養手当の適切な支給、次年度の制度改正の周知 [元] 制度改正に対応した適切な支給 [2] 継続実施	[30] 計画に沿って実施した。 [元] 制度改正に対応し、滞りなく支給できた。	こどもを守る課
	[30] 健康づくりプログラムの全戸配布、健診での手話通訳者の配置・作業所での実施 [元] プログラムへの障害に配慮した健康づくりの掲載についての検討 [2] 継続実施	[30] プログラムの全戸・公共機関等への配布で啓発が推進された。次年度版は市民の興味を喚起するデザインとするよう業者に委託した。健診は作業所ごとに日を設定して実施した。 [元] 継続実施した。	健康づくり推進課
⑭ 障害に配慮した健康づくりや医療の推進	[30] 障害者歯科診療の実施 [元] 継続実施 [2] 継続実施	[30] 計画に沿って実施した。 [元] 継続実施した。	健康政策課
	[30] メンタルヘルスや早期受診等への理解をすすめる取り組みの推進 [元] 中核市における保健所との役割分担や連携の検討 [2] 継続実施、保健所との連携のあり方の検討	[30] 重度訪問介護も活用した入院時の意思疎通支援体制を整備した。 [元] 地域包括ケアシステムの協議の場での事例検討等を継続実施した(⑨の再掲)。	障害福祉課

3. ライフステージを通じた発達支援の充実

成果目標	実施する事業等・改善点【取り組み計画】	事業等の実施状況・成果・課題【実績・課題】	(記入)
⑮ 子ども・子育て支援と連動した切れ目のない障害児支援体制の整備	[30] 児童発達支援センターを核とした一貫した障害児相談支援の推進 [元] 関係機関が連携して支援できるしくみの構築 [2] ライフステージに沿った連携の整理と充実	[30] 自立支援協議会障害児部会で連携を強化した。 [元] 継続して課題の把握や連携をすすめ、18歳以降の支援への移行での連携の必要性などが明らかになった。障害児相談支援事業所が減少した。	障害福祉課
	[30] 障害児関係機関協議会実務者会議の開催、自立支援協議会障害児部会との連携による発達支援のネットワークの充実 [元] 継続実施し、出席者のスキルアップと関係機関の連携と課題の整理 [2] 継続実施	[30] 計画に沿って実施し、現状と課題の認識が共有できた。 [元] 計画どおり継続実施した（市保健所が設置されたため大阪府からの参加は3機関）。	子育て支援課
	[30] サポート手帳（はちかづきノート、知って帳）の普及 [元] 継続実施 [2] サポート手帳の活用の具体化、	[30] サポート手帳を増刷したが、いっそうの普及が必要である。 [元] 「ねやがわ子育てナビ」にサポート手帳が掲載された。	障害福祉課
	[30] 市立幼稚園での個別の支援計画や指導計画等も活用した関係機関等との連携 [元] 継続実施、関係機関とのより密な連携 [2] 継続実施	[30] 計画に沿って実施し、各園児の状況に応じた指導ができた。 [元] 継続実施した。	学務課
	[30] 市立小中学校での教職員の若年層化をふまえた個別の指導計画・教育支援計画の作成方法の学習、障害児関係機関協議会等での情報共有のブラッシュアップ [元] 支援学級在籍児・通級指導教室利用児の個別支援計画作成が施行規則に明記されたことをふまえた作成方法の周知・徹底 [2] 国の規則改正をふまえた個別の教育支援計画の確認と見直し、効果的な活用についての周知・徹底	[30] 経験が浅い教職員が計画の作成方法を学び、適切な指導ができた。情報の発信・共有により丁寧な相談や教育支援体制の強化ができ、継続した発達支援と学びの場の保障ができた。 [元] 継続実施した。	教育指導課
	[30] 自立支援協議会の障害児部会や事業者連絡会を通じた事業所の情報共有やスキルアップの取り組み [2] 障害児部会のあり方の検討	[30] 障害児部会を通じて、保健・医療・福祉・教育部門が連携できる体制整備が推進できた。	障害福祉課
	[30] 医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置 [元] 継続実施、医療的ケア児等コーディネーターの配置検討 [2] 継続実施	[30] 協議の場を設置し、支援方法等を検討した。 [元] 関係機関との支援体制を充実した。	障害福祉課

成果目標	実施する事業等・改善点【取り組み計画】	事業等の実施状況・成果・課題【実績・課題】	(記入)
	[30]子ども・子育て会議の意見聴取、第2期子ども・子育て支援事業計画作成にかかるニーズ調査の実施 [元]第2期事業計画の作成 [2]第2期事業計画の進捗管理	[30]計画に基づいて実施した。 [元]子ども・子育て会議の意見聴取、パブリック・コメントを行い、第2期事業計画を策定した。	こどもを守る課
	[30]サポート手帳講習会、ペアレントメンター養成講座の実施 [元]継続実施	[30]サポート手帳活用委員会および「作ろう会」を実施した。 [元]継続実施した。	[自]活動部会
	[元]中核市移行にともなう業務分担等の情報共有、支援学校との情報交換と顔が見える関係づくり	[元]府からの移管などを含む市の業務や各機関の状況等の情報共有や意見交換を行った。支援学校との情報共有・意見交換も行った。	[自]障害児部会
⑩ 多様なニーズに対応する療育支援の推進	[30]児童発達支援センター、児童発達支援事業、障害児相談支援事業、保育所等訪問支援事業、保育所・幼稚園の巡回相談の実施、地域でつながる保護者交流会（旧母親サークル）の支援 [元]継続実施、あかつき・ひばり園は第2期の指定管理委託の実施 [2]継続実施	[30]計画に沿って実施し、各事業が円滑に運営できている。発達巡回相談のケースが増加しており、あかつき・ひばり園と連携してスムーズに対応し、職員の技術向上につながっている。 [元]あかつき・ひばり園は指定管理者による運営が2期目に入り、円滑に連携して運営している。	子育て支援課
	[30]保育士の確保、研修による障害児保育の質の向上 [元]継続実施、延長保育士も含めた研修の実施 [2]継続実施、公立・民間保育所の障害児保育の質の向上に向けた研修の実施	[30]加配職員を配置し、民間の保育士も含めた研修も行い、ニーズにあわせた保育環境を整えた。 [元]障害児保育の保育士配置を軽中度児は2：1、重度児は1：1とし、より丁寧な支援ができる人的環境を整えた。障害児保育研修会で小学校への接続についても意見交換を行った。	保育課
	[30]市立幼稚園での発達・特性に応じた保育の実施、研修による教職員の資質向上 [元]継続実施、愛着障害の研修の実施 [2]継続実施	[30]計画に沿って実施し、全園児に応じた保育ができた。市で実施した発達障害の研修、府の研修への参加で教職員の資質向上が図れた。 [元]継続実施した。	学務課
	[30]留守家庭児童会の利用ニーズの把握と、ニーズに対応した配慮や環境づくり [元]継続実施、子どもの成長、保護者の意向等も含めた支援 [2]継続実施	[30]障害児の利用機会を確保し、指導員の研修を実施するなど支援体制の整備を図った。 [元]継続実施した。	青少年課

成果目標	実施する事業等・改善点【取り組み計画】	事業等の実施状況・成果・課題【実績・課題】	(記入)
	[30] 発達障害、慢性疾患、医療的ケア等の多様なニーズや障害のある親の子育て、障害児施設の年齢超過児などに対する支援の推進 [元] 継続実施 [2] 継続実施	[30] 基幹相談支援センターで発達診断や相談・助言を実施した。 [元] 療育相談支援専門員による療育相談を実施し、関係機関・事業者との支援方針も共有した。	障害福祉課
	[30] 制度改正をふまえた障害児支援の検討、医療的ケア児への支援の学習と医療との連携の検討、精神障害のある子どもなどへの支援の学習と意見交換、困難ケースへの対応や連携のための事例検討 [元] 継続実施 [2] 継続実施、医療的ケアケア児への支援についての検討	[30] 自立支援協議会障害児部会において、関係機関と協議、情報共有を行った。 [元] 困難ケースの事例検討を行い、インフォーマルな社会資源の活用等の情報も共有した。	[自] 障害児部会
⑰ 支援教育・高等教育、生涯学習の充実	[30] 配慮を要する子どもの市立幼稚園入園に関する情報提供 [元] 継続実施、発達相談の情報提供と利用促進	[30] 計画に沿って実施し、円滑な入園がサポートできた。	学務課
	[30] 市立小中学校の支援学級見学会の年2回開催 [元] 継続実施、本人・保護者の願いを最大限尊重した就学決定の実施、教育支援委員会の開催 [2] 継続実施、地域の学校への就学を前提とした就学決定の推進	[30] 計画に沿って実施し、丁寧な就学相談の場が保障できた。 [元] 継続実施した。	教育指導課
	[30] 発達相談員の巡回参観、発達相談員・作業療法士・言語聴覚士の各校訪問 [元] 継続実施	[30] 計画に沿って実施し、教育相談の場が保障できた。	教育指導課
	[30] 生涯学習、生涯スポーツ等への参加の促進 [元] 継続実施 [2] 継続実施、多くの人が参加できる工夫	[30] 障害者スポーツ大会の参加を呼びかけた。 [元] スポーツ大会等の参加者がやや増加した。	障害福祉課
	[30] 生涯学習情報誌（ねやがわ生涯学習あんない）の発行・ホームページへの掲載 [元] 継続実施、最新情報に留意した内容の充実 [2] 継続実施、障害者の気軽な参加に向けたサークル等の理解や支援の積極的なはたらきかけ	[30] 計画に沿って実施し、生涯にわたる学習の推進を図った。 [元] 継続実施した。	社会教育課
	[2] 寝屋川リーダーズのコーディネーター等の資質向上と、課題を抱える利用者の支援、主体的な青少年リーダーの育成	(2年度に実施)	青少年課

4. 自己実現をめざす就労や社会参加の支援の充実

成果目標	実施する事業等・改善点【取り組み計画】	事業等の実施状況・成果・課題【実績・課題】	(記入)
⑱ 一人ひとりのニーズに応じた就労への支援の推進	<p>[30] 自立支援協議会就労支援部会での状況に応じた相談や訓練、アフターフォロー等の検討</p> <p>[元] 継続実施、発達障害や難病の人への支援の検討</p> <p>[2] 継続実施、就労に関するさまざまなニーズに対応するための他業種への啓発、ひきこもりの人への支援の検討</p> <hr/> <p>[30] 地域就労支援センターでの就労相談、関係機関等と連携した就労支援</p> <p>[元] 障害者を対象とした就労に関するセミナーの開催を検討</p> <p>[2] 就労支援を継続実施</p> <hr/> <p>[30] 多様なケースの事例検討や学習、就労支援の「入口問題」の検討</p> <p>[元] 事例検討会の実施、実習先確保の情報共有とリストの検討、入口問題の検討（キャリアコンサルタントとの交流）</p>	<p>[30] 新規の就労継続支援B型事業所が開設された。自立支援協議会の就労支援部会で関係機関の情報共有や課題検討、就労移行支援事業所見学ツアー、支援学校での進路相談などを実施した。</p> <p>[元] 自立支援協議会就労支援部会を中心として高齢や医療分野も含め取り組みを共有し、連携をすすめた。就職者のアフターフォローの課題を関係機関や事業者等で共有した。ひきこもりの人のケース検討や支援セミナーを開催した。</p> <hr/> <p>[30] 障害者の相談はハローワーク枚方本所に誘導したが、誘導する必要があることが課題である。</p> <p>[元] 継続実施した。</p> <hr/> <p>[30] 生活困窮者自立支援事業や若者支援の学習を行った。庁内実習検討会で入口問題を検討した。</p> <p>[元] 支援困難ケースの事例検討を行い、各機関の視点から問題解決のヒントを得た。</p>	<p>障害福祉課</p> <hr/> <p>産業振興室</p> <hr/> <p>[自] 就労部会</p>
⑲ 福祉的就労での工賃向上の取り組みの推進	<p>[30] 優先調達推進についてのこれまでの取組+αの検討</p> <p>[元] 各事業所の工賃向上計画に基づく課題の抽出と検討、市幹部への周知による優先調達推進</p> <p>[2] 継続実施、市内作業所の製品等の調査の実施</p>	<p>[30] 推進方針を策定し庁内各課に周知啓発した。施設協議会で物品調達の依頼や調整を行った。</p> <p>[元] 継続実施した。新規の作業所の調査や啓発が不十分で、受注先の固定化傾向がある。</p>	<p>障害福祉課</p>

成果目標	実施する事業等・改善点【取り組み計画】	事業等の実施状況・成果・課題【実績・課題】	(記入)
⑳ 障害者雇用等の拡充と定着への支援の充実	<p>[30] 市役所の障害者雇用率をふまえ、身体障害者を対象とした職員採用試験を実施</p> <p>[元]引き続き適正に実施</p> <p>[2]障害者雇用率や市の定員適正化計画をふまえ、引き続き実施</p> <hr/> <p>[30] 就労定着支援も活用した就労後の仕事や生活面での継続的な支援の推進</p> <p>[元] 就労定着支援のニーズや課題をふまえた検討、合同面接会の実施に向けた検討、庁内実習のあり方の検討</p> <p>[2] 継続実施、就労移行・就労定着支援事業所との課題等の共有、企業との情報共有と啓発</p> <hr/> <p>[30] エルガイダンス・合同面接会の開催、企業への障害者雇用の啓発と開発、庁内実習のあり方の検討、制度改正をふまえた就労定着支援・アフターフォローの検討</p> <p>[元] エルガイダンスの開催、合同面接会や企業の理解を深める意見交換・イベント等の検討、定着支援の具体的方法・余暇支援の検討、転職・離職の分析</p> <p>[2] イベントの継続と効果的な実施の検討、庁内実習、就労定着支援等の検討、事例検討を通じた社会資源等の検討</p>	<p>[30] 採用試験を実施し、2人採用した。</p> <p>[元] 職員採用試験の受験資格に療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者を加えるとともに、採用規則の欠格事項から被後見人・被保佐人を削除し、1人採用した。</p> <hr/> <p>[30] 庁内実習を実施した。法定雇用率の引き上げをふまえた企業啓発を実施した。</p> <p>[元] 継続実施するとともに、新たなイベント（ファースト・エル）を開催し、企業による講演会や意見交換会を行った。</p> <hr/> <p>[30] エルガイダンスを開催した。合同面接会、企業への啓発、庁内実習、定着支援について情報共有や意見交換を行った。</p> <p>[元] ファースト・エルを開催し、企業啓発や情報交換を通じた支援者のスキルアップを図った。就労定着支援の現状を共有し、課題を検討した。就労継続のための生活支援や余暇支援等についても各機関の情報を共有した。</p>	<p>人事室</p> <hr/> <p>障害福祉課</p> <hr/> <p>[自] 就労部会</p>
㉑ 多様な社会参加の場づくりと参加の支援・条件づくりの充実	<p>[30] 差別解消法に基づく合理的配慮についての広報・ホームページでの啓発</p> <p>[元] 継続実施</p>	<p>[30] 事業所対象に合理的配慮の研修を実施した。</p> <p>[元] 合理的配慮に係る各課の取組状況を調査した。</p>	<p>障害福祉課</p>

5. 安心して心豊かに暮らせる地域づくり

成果目標	実施する事業等・改善点【取り組み計画】	事業等の実施状況・成果・課題【実績・課題】	(記入)
<p>②「地域共生社会」の実現に向けた学習や交流の推進</p>	<p>[30]小中学校での福祉教育における社会福祉協議会や支援学校とのさらなる連携 [元]継続実施、車いすバスケやダンス等の国・府の障害理解事業への取り組み [2]継続実施</p>	<p>[30]体験学習のまとめの展示、支援学校との居住地交流の継続で、交流と理解が推進できた。 [元]継続実施するとともに、教員研修会で支援学校の見学と情報交換を行った。</p>	<p>教育指導課</p>
	<p>[30]福祉のまちづくりひろばで出された課題解決に向けた意見交換や学習会の実施 [元]次期地域福祉計画の作成に向け、ひろば参加者としてできることを考える [2]地域の福祉活動へのつなぎの検討</p>	<p>[30]引き続き課題解決に向けたひろばを年2回実施し、参加者が講師となった学習会も開催した。 [元]抽出された課題をふまえ、次期地域福祉計画に向けたニーズ調査の質問項目を検討した。</p>	<p>福祉総務課</p>
	<p>[30]地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉、子育て支援に係る計画担当者会議の開催 [元]改定に着手する地域福祉計画・活動計画との連携の検討 [2]計画担当者会議等を含めた情報共有</p>	<p>[30]各計画の会議に参画して情報を収集した。 [元]各計画の情報共有に努めたが、公式な会議は開催できなかった。</p>	<p>障害福祉課</p>
<p>③ 市民・当事者による地域での支えあい活動の推進</p>	<p>[30]小地域ネットワーク事業への補助金交付等の支援 [元]継続実施 [2]継続実施</p>	<p>[30]個別援助活動のニーズが増加し、参加者数が増えているが、担い手確保が課題である。 [元]継続実施した。</p>	<p>福祉総務課</p>
	<p>[30]徘徊高齢者発見支援メールでの行方不明になった高齢障害者の発見への支援 [元]民間企業との連携協定や認知症サポーター養成講座等を通じた認知症高齢者支援の地域ネットワークの構築、生活支援コーディネーター（第1層、第2層）の配置 [2]継続実施</p>	<p>[30]登録協力員が増加している。 [元]登録協力員が増加している(30年度2,486人→元年度3,154人)。</p>	<p>高齢介護室</p>
	<p>[30]障害者サロン活動(i~naふれあい)の月2回開催、多様な障害者が交流できるイベント(寝屋川新春ハートフェスタ)の開催 [元]継続実施 [2]交流する対象者・参加者の範囲の拡大、イベントや当事者活動を通じた支えあえる地域づくり</p>	<p>[30]計画に沿って実施した。自立支援協議会地域活動支援部会でタウンミーティングを開催した。対象者や参加者の拡大が必要である。 [元]各活動を必要な取り組みの見直しを行いながら実施した。災害時に障害者に気づき支えるしくみとしてバンダナを作成した。</p>	<p>障害福祉課</p>

成果目標	実施する事業等・改善点【取り組み計画】	事業等の実施状況・成果・課題【実績・課題】	(記入)
	[30]ピア（当事者）の力を活かした取り組みの拡充 [元]参加を拡大するための周知方法等の検討	[30]当事者の活動報告を受けた。	[自]精神部会
	[30]ピアカウンセリング、タウンミーティング、当事者向け講演会等の実施 [元]継続実施	[30]当事者の活動報告を受けた。	[自]活動部会
②4 合理的配慮の視点でのバリアフリー化と配慮・支援の推進	[30]改正バリアフリー法についての情報収集 [元]継続実施 [2]パラリンピックの状況をふまえた情報収集	[30]インターネット等で情報を収集し、庁内連絡会、庁内WGで共有した。 [元]継続実施した。	障害福祉課
	[30]萱島駅・東寝屋川駅周辺地区整備における関係機関・部局との連携 [元]継続実施 [2]継続実施	[30]計画に沿って実施した。 [元]継続実施した。	都市計画室
	[30]交差点（石津南町）の整備、点字ブロックの設置促進 [元]点字ブロックの敷設（池田秦線）	[30]計画に沿って実施し、外出にかかる交通が確保できた。	道路交通課
	[30]ノンステップバスの導入（新規購入時）の事業者への要望 [元]継続実施	[30]計画に沿って実施した。 [元]継続して要望した。	道路交通課
	[30]めいわく駐車防止の指導、放置自転車の啓発・撤去 [元]継続実施 [2]継続実施	[30]計画に沿って実施した。	道路交通課
	[30]府福祉のまちづくり条例に基づく建築物を新設する民間事業者への指導 [元]継続実施 [2]継続実施	[30]設置義務のない福祉対応設備も努力義務であることを説明し、一定の設置を促せた。 [元]継続実施した。	まちづくり指導課
	[30]イベントでの手話通訳者の配置、障害者への配慮や支援の検討 [元]継続実施	[30]手話通訳者の配置、車いす利用者の駐車場準備を行った。イベント等の計画段階から合理的配慮の視点をもつことが重要である。	青少年課
[30]図書館職員への手話講習や表示の工夫等による聴覚障害者が利用しやすい環境づくり [元]震災による環境変化のなかでの障害者サービスのあり方の検討 [2]サービス低下の緩和、表示の工夫等による聴覚障害者が利用しやすい環境づくり	[30]大阪北部地震の影響で点字図書等の貸出ができず、ボランティアの活動も制限された。 [元]教育研修センター跡に臨時図書室を開設し、貸出も一部再開した。	中央図書館	

成果目標	実施する事業等・改善点【取り組み計画】	事業等の実施状況・成果・課題【実績・課題】	(記入)
㉔ 公民の役割を活かした災害への備えと支援体制づくりの推進	<p>[30]福祉避難所のマニュアルの検討・作成 [元]受託法人等へのマニュアルの説明と協議による具体化と対応、受託法人の拡大、災害時支援バンダナの作製と避難所への備蓄 [2]マニュアルに基づく適切な対応と更新、マニュアルをふまえた連絡会議（情報交換等）の検討</p> <p>[30]社会福祉協議会と共催の防災研修会（マイ防災プラン）への参加 [2]障害者手帳交付時等の災害時支援バンダナの説明等の実施</p> <p>[30]防災冊子「命を守るワガヤノ防災」の作製</p> <p>[30]各校区で作成した「避難所開設・運営マニュアル」に基づく避難所開設・運営訓練の実施の支援 [元]継続実施、訓練内容のマニュアルへの反映・更新の促進</p> <p>[元]簡易トイレ等のプライベートスペースの確保、停電への対策等、小中学校に配備する避難所物品の充実 [2]継続実施、あらゆる災害に対応するための救急救助用資機材（電動チェンソー・カッター、油圧cジャッキ）の避難所への配備</p>	<p>[30]福祉避難所のマニュアル案の作成や施設協議会との協力体制の確認を行い、災害時に被災状況や受入可否の確認を行った。 [元]マニュアルを策定し福祉避難所受託法人に周知した。受託法人を増やすため説明会を開催した。</p> <p>[30]関係機関の研修等に参加して情報共有や連携を図った。 [元]災害時支援バンダナを作製・配布した。</p> <p>[30]地域ごとの防災ハザードマップを含む防災ガイド「命を守るワガヤノ防災」を作製し、全世帯に配布した。</p> <p>[30]避難所開設マニュアルの策定支援および避難所開設・運営訓練の運営支援を行った。 [元]各小学校区で避難所運営訓練を支援し、内容をマニュアルに反映するよう促した。</p> <p>[元]プライベートテント・バルーン型投光器等の避難所物品を充実した。</p>	<p>障害福祉課・高齢介護室</p> <p>障害福祉課</p> <p>危機管理室</p> <p>危機管理室</p> <p>危機管理室</p>
㉕ 防犯・交通安全のためのソフト・ハードの取り組みの充実	<p>[30]交通安全教室・自転車講習会・出前講座の実施 [元]継続実施し、地域協働協議会に出前講座の受講を働きかけ [2]継続実施、放置自転車返還費用の見直し・禁止区域の拡大</p> <p>[30]新たに防犯カメラを設置する自治会への補助金の交付 [元]防犯カメラへの補助の台数制限の見直し、令和2年度までの市全域2,000台の設置の計画的な推進 [2]市内全域2,000基の防犯カメラ設置に向けた492基の設置、公用車のドライブレコーダーと看板による「動く防犯カメラ機能」の整備</p> <p>[30]防犯・交通安全のためのソフト・ハードの取り組みについての他市の状況等の調査研究 [元]継続実施 [2]継続実施</p>	<p>[30]計画に沿って実施したが、高齢者の交通事故件数が増加傾向にある。 [元]継続実施するとともに、運転免許証の自主返納促進のチラシを全自治会で回覧した。</p> <p>[30]20自治会からの申請があり、39台のカメラの設置を行った。 [元]自治会・警察署と連携し430基の防犯カメラを設置した。</p> <p>[30]インターネット等で情報を収集し、庁内連絡会、庁内WG会議で共有した。 [元]継続実施した。</p>	<p>道路交通課</p> <p>危機管理室→監察課</p> <p>障害福祉課</p>

6. 障害者支援のネットワークと担い手づくり

成果目標	実施する事業等・改善点【取り組み計画】	事業等の実施状況・成果・課題【実績・課題】	(記入)
<p>⑳ 自立支援協議会を活かした障害者支援のネットワークの充実</p>	<p>[30] 自立支援協議会での委託相談支援事業所の評価と情報・課題の共有 (③の再掲)、医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置 (⑮の再掲)、精神障害者地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者の協議の場の検討 (⑨の再掲) [元] 地域生活支援 (拠点) システムでの緊急時対応のしくみの検討 (⑧の再掲) [2] 自立支援協議会で出された地域課題の次期障害福祉計画への反映</p> <p>[30] ワーキング参加機関の情報共有、ワーキングとサブワーキングの連動 [元] 新たな資源の状況と利用についての意見交換、サブワーキングの課題の確認</p> <p>[元] 自立支援協議会への参加の促進や他の部会との交流についての協議</p>	<p>[30] 自立支援協議会の各会議を通じて連携や情報・課題の共有を行った。中核市移行後の各機関の役割等の検討を行った。より多くの事業者等の参加が課題である。 [元] 全体会で相談支援事業所の自己評価や部会の課題共有を行った。医療的ケア児支援検討会、精神障害者地域包括ケアシステムの協議の場を開催した (内容は⑮、⑨に記載)。</p> <p>[30] 新たな資源の情報共有、サブワーキングの意見交換とコラボ開催を行った。 [元] 各機関等の新たな取り組み (資源) についての情報共有、各サブワーキングの再確認等の協議などを行った。</p> <p>[元] 参加を推進するための工夫や合同研修を活かした取り組み等について協議した。</p>	<p>障害福祉課</p> <p>[自] 精神部会</p> <p>[自] 相談部会</p>
<p>㉑ 計画のPDCIサイクルを通じた全庁的な障害者支援の推進</p>	<p>[30] 計画推進シートの作成 (評価・改善)、庁内連絡会・ワーキングの開催、計画推進委員会の開催 [元] 継続実施、各会議で出された意見のフィードバック [2] 次期計画策定を意識した取り組み</p>	<p>[30] 計画に沿って実施した。 [元] 計画に沿って実施した。</p>	<p>障害福祉課</p>
<p>㉒ 障害者支援の多様な人材の確保</p>	<p>[30] 福祉サービス従事者の確保に向けた地域福祉計画・地域福祉活動計画との連携の検討 [元] 継続実施、地域福祉計画・地域福祉活動計画との情報共有 [2] 継続実施、関連計画と整合性を図った次期計画の策定</p>	<p>[30] 障害のある人への支援を広げるため、理解啓発研修を実施した。 [元] 他分野の計画の情報収集を行ったが、担当者会議は開催できなかった。</p>	<p>障害福祉課</p>
<p>㉓ 情報公開や研修による支援の質の向上と安全確保</p>	<p>[30] 事業者への集団指導の参加の呼びかけ、従事者への虐待防止研修の実施、中核市移行にともなう一般相談支援事業所への実施指導の検討 [元] スキルアップや虐待防止、差別解消の研修の継続 [2] 継続実施、事業者連絡会に参加しない新規事業所等への呼びかけと取り組みの把握</p> <p>[30] 就労支援従事者のスキルアップ研修の実施 [元] 支援者研修のニーズと課題の把握、研修の実施</p>	<p>[30] 計画に沿って実施した。差別解消法についての研修も実施した (内容は㉑に記載)。 [元] ヘルパー事業所、相談支援事業所のスキルアップ研修を実施した。基準該当生活保護事業所に集団指導への参加を呼びかけた。</p> <p>[30] 支援者研修、求職者研修を実施した。</p>	<p>障害福祉課</p> <p>[自] 就労部会</p>